

## 令和5年度 後期卒業証書授与式 式辞

穏やかな春光が夙川を照らし、早咲きの花々が春の訪れを感じさせる爽やかな今日の佳き日、PTA会長様をはじめ、ご来賓の皆様、保護者の皆様のご出席を賜り、ここに令和5年度兵庫県立西宮香風高等学校後期卒業証書授与式を挙行できますことは、この上ない喜びであり、心より感謝申し上げます。

ただ今、卒業証書を授与いたしました139名の卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。教職員一同、心よりお祝い申し上げます。今日の卒業の日を迎えるまでには、必ずしも楽しいことばかりではなかったと思います。時には悩み、時には自信をなくし、希望と目標を失いかけた日もあったことでしょう。それでも、挫けることなく初心を貫き、今、新しい道を求めて本校を巣立っていく日を迎えたみなさんに対して、深い敬意を表したいと思います。

今日の日を待ち望んでおられた保護者並びにご家族の皆様、本日は誠におめでとうございます。時にはぶつかり、共に悩み、励まし、喜んだ高校生活であったのではないかと拝察いたします。立派に卒業の日を迎えられた姿に、感慨もひとしおのことと存じます。ご卒業を心からお慶び申し上げますと共に、これまで本校が賜りましたご理解とご協力に、深く感謝申し上げます。

さて、卒業生の皆さんがこれから迎える時代は、科学技術やITの著しい発展、そして価値観の多様化に伴い、知識の吸収だけでは活躍できない、新しい発想が求められる時代といわれています。そのような社会を背景に、本日卒業という新たなスタートラインに立ち、自分の夢に向かって大きく羽ばたいてゆく皆さんに、2つのことについてお話しさせていただきます。

1 つ目は、高校を卒業しても学び続けることを忘れないでほしいということです。近年仕事に必要なスキルが大きく変化しつつあり、ある調査では10~20年後に日本の約49%の職業は、AIに代替することが可能と推計されています。2017年にオックスフォード大学のマイケル・オズボーン教授が「2030年に必要とされるスキル」という論文を発表し話題になりました。その中で、最も必要な能力第1位になったのは「戦略的学習力」というものでした。「戦略的学習力」とは、新しいものを学ぶときに、より良い方法を考え、ムダのない手順で身に付けるということです。このスキル獲得のためには、目の前の知識だけではなく、様々な分野について学び、そこから新たな発想を生み出していくことが求められています。これはAIやロボットにはできない人間ならではの能力です。卒業後も常に「学び続けること」、そして学んだことを活かして「行動すること」を心がけていただきたいと思います。更に、最も必要な能力第2位になったのは「心理学」でした。将来、AIの技術が進化しても、AIに奪われないものがあります。それは、他人の感情を察する能力です。人は一人では生きてはいけません。困難にぶつかった時、人と人とのつながりの中で解決されることも多くあります。人への思いやりは、他人を幸せにするだけでなく、自らも幸せにします。これからの予測不可能な社会を生き抜く上で、「思いやりの心」は最大の武器に成り得ます。

ですから、皆さんには、「学び続けること」と併せて、「思いやりの心」を大切に、豊かな人間性を備えた人になってほしいと思います。

2つ目は、自分の存在そのものが、誰かにとって価値ある存在であることを忘れないでほしいということです。人は誰かに支えられて生きています。しかし、誰かに支えられていること、また自分が誰かを支えていることは、気づかない場合が多くあります。例えば、皆さんが何気なしに過ごしている学校生活にしてもそうです。日々、部活動に情熱を燃やし、学校行事を楽しみ、勉学にも向き合い、また新しい友人ができた、アルバイトに忙しかった等は、皆さんにとって当たり前の姿です。しかし、その当たり前の姿全てが、本校を志望する中学生に大きな希望を与えています。本校は「多様性」を尊重する学校です。ですから、入学するまでの事情は様々です。皆さんの中には中学時代、日々の生活に苦しみ、将来に希望を持てなかった人もいるかもしれません。そして、同じような思いで毎日を過ごしている中学生が多数いるのではないかと思います。今年のオープンハイスクールには、延べ約1300人の中学生および保護者、先生方が集まりました。参加した中学生の中には、皆さんの笑っている姿を見ただけで、「私にもいつか笑える日が来るんだ」と希望を持った人が多数いたようです。オープンハイスクール後の参加者アンケートには、そのような内容が書かれていました。そして、我々西宮香風高校の教職員も、皆さんが元気に登校してくれることで、希望を持ち、夢を持ち、頑張ることができ、そして強くなれました。卒業後も苦しいとき、辛いとき、挫けそうになることもあるかもしれません。そんなときは、立ち止まって考えてください。自分の存在そのものが、周りの人に影響を与え、時に希望と力を与えることがある、そのことを忘れないでください。

卒業生の皆さん、いよいよ本校を巣立つ時がきました。これからの人生、必ずしも順風満帆とは限りません。しかし、社会は必ずみなさんを必要としています。どうか、本校で培った諦めない精神を礎に、自分の可能性を信じて、たゆまぬ前進を続けてください。

最後に、卒業ソングとして名高い、レミオロメンの「3月9日」の歌詞の一節を、皆さんへのはなむけの言葉とします。

瞳を閉じれば あなたが  
まぶたのうらに いることで  
どれほど強く なれたでしょう  
あなたにとって私も そうでありたい

みなさんのご健康とご多幸、そしてこれからのご活躍を心より祈念し、式辞といたします。

令和6年3月2日

兵庫県立西宮香風高等学校長  
桑田 圭介